

樹博 42-5991
宍美 48-6100
岡橋 23-2272
愛野 48-6100
高橋 23-2272
浅田 23-2272
浅羽 23-2272

日本共産党袋井市議団の 議会報告

2009年2月定例会

ここが問題！ 平成21年度の予算

一般会計予算

平成21年度一般会計予算は、いま地方自治体に求められている開発中心からくらしや福祉、環境優先への政策転換が、実に不十分です。

子育て支援・雇用確保で抜本策を子育て支援については、児童福祉事業費や乳幼児医療費助成、保育所管理運営費で昨年より増額（約1億2千万円）となり、一定の改善が図られていることは評価できます。

しかし、待機児童が61人（浜松市に次ぎ県下2位）と多く、この解消は程遠いもので、「若いまち」にふさわしい抜本的な改善が求められます。雇用確保への市の取り組みも重要ですが、労政費はわずか3400万円（うち勤労者住宅建設利子補給1780万円、ライフサポートセンター負

市議会2月定例会は、2月23日から3月19日まで開催され、平成21年度予算を中心に審議され、市長提出45議案及び議員発議3議案を、原案通り可決・承認しました。
日本共産党議員団は、一般会計予算、介護保険料にかかわる2議案、水道事業会計予算および専決処分の承認についての5議案に反対しました。

担金870万円）です。
農業・環境で後退

「グリーン」「グリーン」は世界的なキーワードとなつていきます。市でも「農を活かした新たなまちづくり」「地球への思いやり」を重点テーマとしていますが、下表のように予算は昨年より減額されています。市の環境基本計画（案）では、市域全体の温室効果ガス排出量を2018年に約96万ト

	21年度予算	前年比
環境衛生費	148,500千円	13,114千円
農林振興対策費	103,886千円	932千円

介護保険条例等

19%の大幅引上げ
介護保険料（基準額）が、月額3700円から4400円へ、実に18.9%の大幅に引上げられました。平成12年に介護保険制度が導入され、下表のように毎

	保険料月額
第1期	2700円(袋井) 2633円(浅羽)
第2期	2830円
第3期	3700円
第4期	4400円

回保険料が引き上げられています。高齢者の生活は、年金収入の減少、後期高齢者医療制度での費用増、老年者控除の減など、だん

だん苦しくなつてきています。「サービスが増える」「高齢者が増える」と保険料にそのまま跳ね返るシステムは問題です。介護保険給付における財源で、国の負担（現在25%）を引上げない限り、保険料は上り続けます。



ン（1990年比36%増）にする目標としています。京都議定書では2012年までに1990年比6%削減を、日本は約束しています。市の目標は異常ではないでしょうか。開発見直しを



『開発の推進』は『禁句』にさえなるうとして、今、市では相変わらず国本開発、小笠山山麓開発などの費用が継続されています。持続可能な国土利用、環境保全、農業振興などのため、開発は中止・見直しが必要です。また、開発と関連し、進出企業への異常な優遇措置である産業立地補助金なども問題です。

水道事業会計予算

水道事業会計が7800万円の赤字予算となりました。昨年と比べ、赤字の理由は二つです。一つは簡易水道の統合によるものです。簡易水道はもともと維持管理にかかる経費は水道料でまかなつてきましたが、施設整備費用の借入金返済は、多くを一般会計からの繰入に頼つていました。



統合により水道事業会計から、返済金2180万円及び利子1674万円、計3854万円が、そのため支出されます。二つ目は、受水費の増加です。これは太田川ダ

意見書 市民の願い届かず

市民の願いを「意見書」にし、国・県等へ送付することは、議会の役割でもあります。日本共産党市議団は、今回も、「派遣労働者法の改正」「保育制度の維持」「雇用促進住宅廃止の見直し」の意見書を上程するように働きかけました。しかし、「国で検討中」などを理由に全会派の合意が得られず、上程されませんでした。

ムからの受水によるものです。遠州水道からの受水費が約1億1千万円増えています。遠州水道からの受水は一日平均23450トンを予定していますが、契約水量は32500トンであり、実に9050トンは使用しないものです。この基本料金は約1億900万円です。遠州水道からの受水契約水量は、まったく無駄な水量も含まれ大きな問題があります。これら二つの問題は、水道事業上ではなく、政策的な問題であり、一般会計からの繰り入れが検討されなくてはなりません。